



まもりん

くらしの情報

冬号
2017

北九州市立消費生活センター

衣類の洗濯表示が変わりました

衣類などの繊維製品の「洗濯表示」が平成28年12月1日に、今までの日本独自の記号から国際規格の表示記号に変更されました。

新しい洗濯表示は、「家庭洗濯」「漂白」「乾燥」「アイロン」「クリーニング」の5つの基本記号と「強さ」「温度」「禁止」を表す付加記号と数字で構成され、記号の種類は22種類から41種類に増えます。

また、世界で共通に使用できるように、記号内には日本語などの文字はありません。

記号以外の参考情報について、簡単な言葉で記号のそばに記載されている場合(付記用語)があります。必ずチェックしましょう。

洗濯のしかた	漂白のしかた	乾燥のしかた	アイロンの かけかた	クリーニングの 種類
例	例	例	例	例
液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる	塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止	日陰のつり干しがよい	底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げができる	石油系溶剤によるドライクリーニングができる

▼5つの基本記号	▼付加記号	新しい表示を覚えて大切な衣類を正しく取り扱いましょう。								
	<table border="1"> <tr> <td>強さ</td> <td>線なし 通常</td> <td>— 弱い</td> <td>=== 非常に弱い</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>温度</td> <td>● 低い</td> <td>●●</td> <td>●●● 高い</td> </tr> </table>		強さ	線なし 通常	— 弱い	=== 非常に弱い		温度	● 低い	●●
強さ	線なし 通常	— 弱い	=== 非常に弱い							
温度	● 低い	●●	●●● 高い							

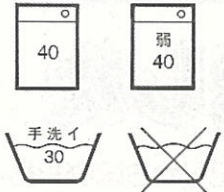
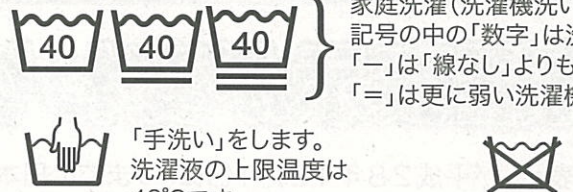


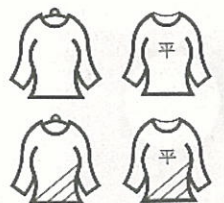



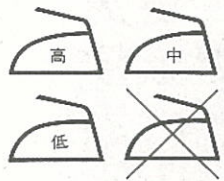
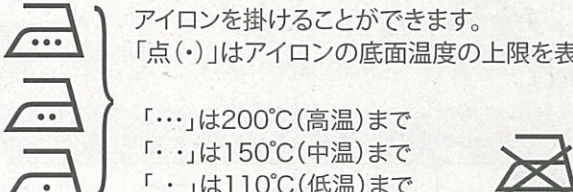

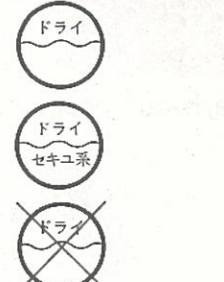
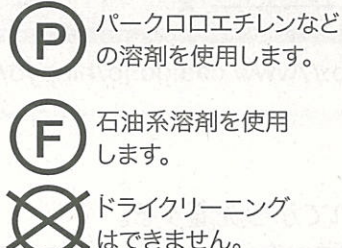


出典:消費者庁ウェブサイト http://www.caa.go.jp/hinpyo/pdf_data/hyouji_poster.pdf

【付記用語の例】

- 「洗濯ネット使用」 洗濯用ネットに入れてから洗濯する。
- 「弱く絞る」 洗濯機で短時間の脱水を行うか、タオルなどに挟んで水分を取る。
- 「あて布使用」 薄手の布で覆った上からアイロンを掛ける。
- 「裏返しにして洗う」、「同系色と一緒に洗う」など



新しい「洗濯表示」の記号と意味

現行洗濯表示の記号 JIS L 0217より抜粋	新しい「洗濯表示」の記号 (付加記号を含みます。) JIS L 0001より抜粋
家庭洗濯の記号 	家庭洗濯の記号  <p>家庭洗濯(洗濯機洗い)ができます。 記号の中の「数字」は洗濯液の上限温度です。 「-」は「線なし」よりも、弱く、 「=」は更に弱い洗濯機での洗い方です。</p> <p>「手洗い」をします。 洗濯液の上限温度は 40℃です。</p> <p>家庭での洗濯は できません。</p>
漂白の記号 	漂白の記号 NEW 酸素系漂白剤の記号が追加されました。  <p>塩素系漂白剤や 酸素系漂白剤で 漂白ができます。</p> <p>酸素系漂白剤 のみが使え ます。</p> <p>漂白剤は 使えません。</p>
自然乾燥の記号 	自然乾燥の記号 NEW ぬれ干しの記号が追加されました。  <p>※ぬれ干し(「II」「=」)は脱水せず(絞らず)に干します。</p> <p>NEW タンブル乾燥の記号</p>  <p>家庭でタンブル乾燥ができます。 ※機械の中で洗濯物を回転させながら温風で乾燥します。 「点(・)」は乾燥温度を表します。 「・・」はヒーターを「強」などに設定します。 「・」はヒーターを「弱」などに設定します。</p> <p>タンブル乾燥はできません。</p> 
アイロン仕上げの記号 	アイロン仕上げの記号  <p>アイロンを掛けることができます。 「点(・)」はアイロンの底面温度の上限を表します。</p> <p>「・・・」は200℃(高温)まで 「・・」は150℃(中温)まで 「・」は110℃(低温)まで</p> <p>アイロンは 掛けられません。</p> 
ドライクリーニングの記号 	ドライクリーニングの記号  <p>ドライクリーニングができます。</p> <p>パークロロエチレンなどの 溶剤を使用します。</p> <p>石油系溶剤を使用 します。</p> <p>ドライクリーニング はできません。</p> <p>NEW ウェットクリーニングの記号</p>  <p>ウェットクリーニングができます。 ※クリーニング店が特殊な技術で行う プロの水洗いと仕上げによる洗濯です。</p> <p>ウェットクリーニング はできません。</p> 

出典: 消費者庁ウェブサイト

http://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/white_paper/2016/white_paper_column_10.html